

# 医療功労賞に2人

地域医療に長年貢献した人に贈られる「第49回医療功労賞」(読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、損保ジャパン、アインホールディングス協賛)の受賞者が決まった。県内からは、精神科医で前みやぎ心のケアセンター長、白沢英勝さん(76)と、多賀城市の歯科医院長、藤秀敏さん(72)が選ばれた。2人に受賞の喜びを聞いた。

## 被災者の心寄り添い

精神科医

白沢 英勝さん

精神科医として半世紀にわたり心に課題を抱える人たちに向き合ってきた。震災後の2011年12月に開

設されたみやぎ心のケアセンターの初代所長として被災者の心の健康を支えた。記憶に残る患者も多い。津波で妻が行方不明になった岩沼市の男性。海岸を捜索する日々を送る中、周りから「奥さんはもう亡くな

っているんだから早く葬式をあげて供養してあげなさい」と言われていた。

男性の心は次第に壊れ始め、うつ病を発症し、診察した。「生きている希望を持つのも当たり前。自分で本当に納得のできる時期が来たら葬式をあげたらいいんじゃないか」。男性の意

見を肯定し、声を掛けると男性の目は涙でいっぱいになった。震災から1年後、男性は妻の葬式をあげた。

震災が起きた3月11日に近づくとも不眠などのストレス反応が起こる「記念日反応」に苦しむ被災者も少なくない。「今でも震災の体験を口にできない被災者は多い。そういう人たちを孤立させない、つながりを持ち続ける仕組みが必要だと感じています」。心の復興はまだ途中だと感じている。

